

単施設研究用

研究課題名：Primary entry site が急性 A 型大動脈解離手術に及ぼす影響の検討

1. 研究の対象

2004年1月1日から2020年12月31日までに、当院で急性A型大動脈解離に対して手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

急性A型大動脈解離は、致死率が高く迅速な対応が求められる疾患です。救命には緊急手術が必要で、解離した大動脈を人工血管で置換する手術が行われます。その際に、血管にできた裂け目である entry を切除することが重要です。なぜなら、entry を残すことで様々な合併症を引き起こすことが知られているからです。そのため、entry の位置を知ることは術式にも、そして患者さんの予後にも影響する非常に重要な情報です。しかしながら、これまで entry の位置と急性A型大動脈解離の予後については、ほとんど研究が行われていません。今回、本研究を行い大動脈解離の詳細を理解することで救命率の改善に貢献できると考えています。従いまして、本研究の目的は、急性A型大動脈解離の手術成績と primary entry（血管の裂け目）の位置との関係を解析し、その治療成績の向上を目指すことです。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2024年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者ID（情報管理に使用）、年齢、性別、身長、体重、飲酒歴、喫煙歴、これまでの既往歴、診察所見、血液検査結果（血小板数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、クレアチニン）、CT検査結果（エントリーの位置、大動脈径、血管の閉塞虚血の有無、血栓の有無）、エコー検査結果（EF、心タンポナーデ、大動脈弁閉鎖不全症の有無と程度、大動脈弁輪径、局所壁運動の評価、大動脈基部の評価、そのほかの弁膜症の評価）、手術開始時間、当院搬入時間、症状発症時間、麻酔開始時間、手術室搬入時間、手術内容、治療歴（治療内容、治療効果）、生存期間、生存情報、周術期合併症、遠隔期合併症、合併症発症日、集中治療室滞在期間、入院期間、手術に参加した外科医の経験年数、経験執刀数。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

研究責任者：佐賀大学医学部附属病院 胸部・心臓血管外科 医員 高橋巴久

住所：〒849-8501

佐賀市鍋島5丁目1番1号

Tel: 0952-31-6511, Fax: 0952-34-2061

【この研究の検体・診療情報等の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは当院の研究実施許可日より2024年12月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページで掲載しているものです。

臨床研究センターHP <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は、佐賀大学における所定の委員会で審査を受け、承認されたものです。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。